

2023年度 展覧会スケジュール

石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語

4月22日（土）～7月2日（日）

版画技法の中でも肉筆画に最も近い表現が可能とされる石版画（リトグラフ）。その多彩な表現の世界を和歌山県立近代美術館が誇る版画コレクションから紹介します。

織田一磨《道頓堀（大阪風景より）》
1917 当館蔵



コレクション展2023-春

特集：新収蔵 奈良原一高の写真

開催中～5月7日（日）



奈良原一高《沈黙の圓（王国より）》
1958 当館蔵 ©Narahara Ikko Archives

なつやすみの美術館13 feat.橋本知成

7月11日（火）～9月10日（日）

だれもが気軽に美術館を訪れ、美術の楽しみ方を体験できる展覧会の13回目。今回は、和歌山県湯浅町出身の橋本知成（1990～）さんをゲストに迎え、展覧会を構成します。

橋本知成《Untitled》2021 個人蔵
撮影：Gentoku Katakura



コレクション展2023-春夏

特集：美術と音楽の出会い

5月20日（土）～7月30日（日）



ワシリー・カンディンスキー《抒情的（『響き』より）》
1911 当館蔵

特別事業

トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術

9月30日（土）～11月30日（木）

和歌山県人会世界大会記念特別事業として、移民という立場で多くの人々が海を渡った和歌山県の歴史を背景に、アメリカ西海岸で美術を志した人々の足跡を追います。



イートウェル・カリフォルニア・マカレル
（ロス港ターミナル島で戦前に製造された缶詰） 太地町歴史資料室蔵



ヘンリー・杉本《カーメルハイランド海辺》
1937 当館蔵

コレクション展2023-夏秋

特集：本のために—大家利夫の仕事—

8月11日（金・祝）～9月24日（日）



大家利夫『紫苑物語』特装本（石川淳著、O Jun 絵）
2005 当館蔵

特別展

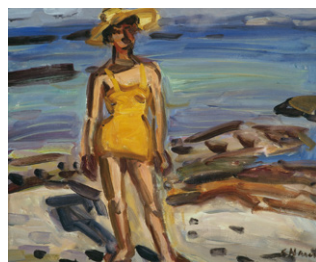
原勝四郎展

10月7日（土）～12月3日（日）

故郷の田辺や生活を営んだ白浜の風景を中心に、生涯にわたって身近なモチーフを描き続けた洋画家、原勝四郎（1886～1964）。和歌山を愛し、和歌山に愛された画家の生涯を、地域における美術家たちとの交流とともに、田辺市立美術館との共催によって紹介します。



原勝四郎《画工像》1932 当館蔵



原勝四郎《海辺》1957 田辺市立美術館蔵

小企画展

原勝四郎と同時代の画家たち

10月7日（土）～12月24日（日）



青山熊治《雪の馬》1927 個人蔵

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：藤本 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>

第77回和歌山県美術展覧会（県展）

12月13日（水）～12月17日（日）

第9回和歌山県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）

12月20日（水）～12月24日（日）

*掲載画像については広報担当にお問い合わせください。文字のせ、トリミング等とはご遠慮ください。
*予定が変更となる可能性があります。最新の情報はホームページなどでお知らせいたしますので、ご確認ください。